

土井達也 ただいま活動中！

当然のことながら、「大阪都構想」にも取り組んできました。当初の予定では、昨年秋に住民投票が行うはずでしたが、本年5月17日にずれ込みます。「大阪都構想」住民投票が過半数を得た場合、その先の物語を予告編として記載しておきます。

大阪都構想、その後 世界と戦う「大阪の経済成長」を担い、 税金のムダ使い「二重行政の解消」を図る！

大阪は、この国は、こんなに変わる！

BEFORE 東京圏一極集中で大阪は衰退の一途

2011年に大阪府内へ転入した企業は163社、大阪府外へ転出した企業は259社。転出超過は10年連続。

2002年～2011年までの10年間では、大阪府から転出した企業の売上高合計は14兆683億円で、転入してきた企業の売上高合計3兆4,500億円を10兆6,183億円も上回る。
※帝国データバンクより

BEFORE 二重行政により税金のムダ遣い

府も市も借金が膨らみ、低下する一方の行政サービス。

大阪府りんくうタウンゲートタワービル	659億円	テクノポート大阪WTC	1,193億円
府立中央図書館	191億円	市立中央図書館	162億円
グランキューブ	570億円	インテックス大阪	511億円



広域行政一本化で戦略的経済政策 AFTER

大阪府全体の経済政策を一本化し、対アジア、対世界に向けて力強い大阪を発信していく。

既存のストックを活かしながら「決断できる大阪」としてIR誘致や伊丹・関空の空港戦略・府・市港湾戦略などインフラ政策の一本化。大阪を中心として「成長する関西経済圏」を実現する。



大阪都・東京都二極で日本を支えます AFTER

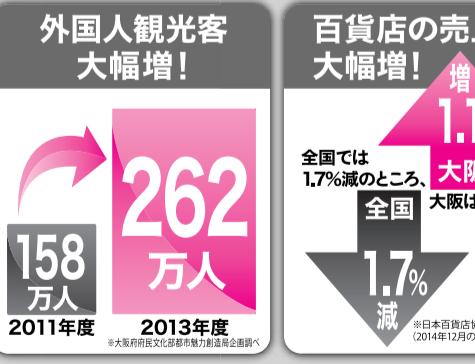
明確な役割分担により、二重行政はなくなり、税金の無駄がなくなる。

これにより、借金を減らしながら住民が希望する充実した施策を行うことができる。

国土軸を大阪縦断させる「紀淡海峡大橋」が、必要になるくらい「大阪の経済」を活況させる！
子どもたち・孫たちの世代が、大阪で働き、今よりも高い所得をもらえるような大阪にする！
そして、

東日本大震災のような有事（南海トラフ巨大地震）の際、西日本の安全安心を担保する広域消防「大阪消防庁」設置、東京都との二極で、首都機能の代替を担う大阪へ！

現在大阪はどんどん良くなっています。



果たさなければならぬ
「約束」がある！
行こう 次の時代へ！
残そう 次の世代へ！

大阪都構想

安倍首相は1月27日の通常国会において、都構想は二重行政を解消し、住民自治の拡充を図るという目的で重要だ。住民投票で賛成多数となれば、政府として必要な手続きは進めると答弁。政府はしっかりと都構想をバックアップしてくれます。

土井達也 ただいま活動中！

月刊

2015年(平成27年)
3月Vol.183
府議3期目 最終版
大阪府議会議員 活動報告書
1997年6月創刊
1997年6月～9月：週刊
1997年10月～：月刊
発行部数累計：2,492,460部

はっきり発言！ しっかり報告！ 土井達也 ただいま活動中！

大阪府議会議員
都市住宅常任委員会
府議会大阪維新の会幹事

土井達也 事務所
住所：〒599-0201 大阪府阪南市
尾崎町93-6尾崎駅山手ビル2F
TEL：072-471-7357
FAX：072-471-8004
E-Mail:t.doi@nifty.com

土井達也Webサイト
<http://www.tdoi.net/>
110.708人



これが、現在の任期における一府議会議員として最後の「報告書」となります。大阪維新の会・大阪府議会議員団で発行している「維新タイムズ」は、2月下旬から配布させて頂きましたものが、最後でした。

さて、今から6年前、「長期入院」をしていました。何度も手術と失敗、それを乗り越えて、病院から府議会へ車イスで通ったのもこの頃です。

毎日、遠い距離を見舞いに来てくれる幼い娘の顔を見ながら、「強烈な後悔の念」に襲われたのも、この頃。追い打ちをかけるように、同じ病院内で入院し余命宣告をされた方々に「がんばれよ！ 变えろよ！」と、ご自身の闘病にもかかわらず励ましに来てくれた方々にとても感謝しながらも、自分の心の中では「強烈な後悔の念」に襲われました。

「政治生命が終わる」ことを自覚したときに、込み上げてきた「強烈な後悔の念」。余命宣告をされた方々も、自分の命が尽きるときに幾ばくかの後悔の念を抱かれて、わざわざ私のところへ足を運び、ご自身の想いを伝えてくれたのでした。終わりを自覚するときに、込み上げる想い。

「強烈な後悔の念」とは、社会の仕組みを変える立場にありながら、「こんな大阪」を次の世代に引き継がなくてはならないのかという想いでした。「こんな大阪」とは、沈没しかかっているのに、変化を恐れ「現状維持」に汲々としている大阪です。

同じ想いを抱かれているみなさま、この想いが心に届いたみなさま、土井達也はひるむことなく「変革と挑戦」を胸に、まっすぐ「この命」を使い、次の世代へ引き継ぐ「大阪」を創って参ります。

4年前、大阪維新の会がみなさまと『大阪都構想実現』の約束を果たして参ります。

ちなみに、「長期入院」は、肉を突き破って骨が出てしまう「開放骨折」でした。翌年には、フルマラソン完走です！（詳細は、ブログ「つれづれ日誌」の最初をご覧下さい。）

まずは、この4年間に、府議会「維新」が取組んで実現した施策を簡単に振り返っておきます

乳幼児医療費 助成の拡充

私立高校 無償化

中学校給食 市町村導入補助金

議会改革

- 大阪府議会議員定数を109名から88名に（21名削減）
- 議員報酬の3割カット
- 政務調査費15%カット

田尻町・泉南市・阪南市・岬町で、府議1名になる。

特区 全国初の地方税ゼロ 実効税率を軽減

その他、水門の遠隔化、防潮堤の液状化対策など「南海トラフ等巨大地震対策」や推進障がい者雇用全国ナンバーワンを目指し事業主に対して法定雇用率の達成に向けたハートフル条例やハートフル税制の制定、「あいりん地域環境整備5か年計画」等々。（詳細は記載しきれないので、土井達也HPまで。）しかし、二重行政の解消では、公衛研・環科研・産技研・市工研、水道事業、府・市の大学・病院などが、府議会・野党の抵抗で進まず。

二重行政の解消 信用保証協会合併